

# 認定書

国住指第 2422 号  
平成 25 年 11 月 12 日

旭化成建材株式会社  
代表取締役 前田 富弘 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PC030BE-3043

2. 認定をした構造方法等の名称

人造鉱物繊維断熱材充てん／樹脂塗装窯業系サイディング・フェノールフォーム保温板・木質系ボード表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名

人造鉱物繊維断熱材充てん／樹脂塗装窯業系サイディング・フェノールフォーム保温板・木質系ボード  
表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁

## 2. 寸法および形状等

(寸法単位：mm)

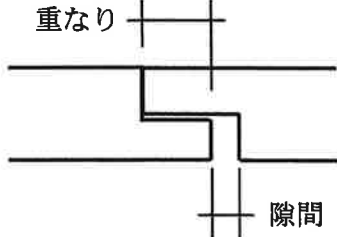
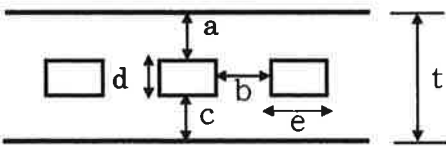
項 目	申 請 構 造
壁 高	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁 厚	157.5以上

## 3. 材料構成

## 1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造											
[1] たて枠 (荷重支持部材)	木 <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁のたて枠材 (2) 日本農林規格に適合する構造用単板積層材</li> <li>・寸法 38×89の断面寸法以上</li> <li>・間隔 500以下</li> <li>・密度 <math>0.50_{\pm 0.08}</math> g/cm<sup>3</sup>以上</li> </ul>											
[2] 上枠、下枠	木 <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁の上枠及び下枠材 (2) 日本農林規格に適合する構造用単板積層材</li> <li>・寸法 38×89の断面寸法以上</li> <li>・密度 <math>0.50_{\pm 0.08}</math> g/cm<sup>3</sup>以上</li> </ul>											
[3] 胴縁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 木(合板、製材、集成材または単板積層材)</li> <li>・寸法 15×45の断面寸法以上(一般部) 15×45×2枚または15×90の断面寸法以上(目地部)</li> <li>・間隔 500以下</li> </ul>											
[4] 外装材	[4]-1 基材 窯業系サイディング <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5422</li> <li>・組成(質量%)               <table border="0"> <tr> <td rowspan="5" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td>けい酸カルシウム硬化物</td> <td>65～86</td> </tr> <tr> <td>有機質繊維</td> <td>1～13</td> </tr> <tr> <td>無機質繊維</td> <td>4未満</td> </tr> <tr> <td>有機質混和材</td> <td>14未満</td> </tr> <tr> <td>無機質混和材</td> <td>27未満</td> </tr> </table> </li> <li>但し、●繊維質原料               <ul style="list-style-type: none"> <li>有機質：セルロース繊維、ポリビニルアルコール繊維、ポリプロピレン繊維等</li> <li>無機質：ガラス繊維、ロックウール繊維等</li> </ul> </li> <li>●混和材料               <ul style="list-style-type: none"> <li>有機質：リグニン、メチルセルロース、撥水剤等</li> <li>無機質：パーライト、炭酸カルシウム、マイカ等</li> </ul> </li> </ul>	{	けい酸カルシウム硬化物	65～86	有機質繊維	1～13	無機質繊維	4未満	有機質混和材	14未満	無機質混和材	27未満
{	けい酸カルシウム硬化物		65～86									
	有機質繊維		1～13									
	無機質繊維		4未満									
	有機質混和材		14未満									
	無機質混和材	27未満										

項目	申請構造																																								
[4] 外装材 (つづき)	<p>[4]-2 表面塗装</p> <p>(1)～(6)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) アクリルウレタン系樹脂 (2) アクリル系樹脂 (3) アクリルシリコン系樹脂 (4) フッ素系樹脂 (5) エポキシ系樹脂 (6) 無機質系</p> <p>・塗布量 200g/m<sup>2</sup> (有機固形分) 以下</p> <p>[4]-3 かさ比重 1.1<sub>±0.2</sub> (絶乾)</p> <p>[4]-4 形状</p> <p>[4]-4-1 外形寸法</p> <table border="1" data-bbox="518 683 1337 801"> <thead> <tr> <th rowspan="2">厚さ</th> <th colspan="2">幅</th> <th colspan="2">長さ</th> </tr> <tr> <th>最小</th> <th>最大</th> <th>最小</th> <th>最大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15～26</td> <td>303</td> <td>606</td> <td>910</td> <td>3640</td> </tr> </tbody> </table> <p>[4]-4-2 端部形状 (サイディング相互の重なりと隙間)</p> <table border="1" data-bbox="513 929 954 1008"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>重なり</th> <th>隙間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15～26</td> <td>9以上</td> <td>3以下</td> </tr> </tbody> </table>  <p>[4]-4-3 断面形状</p> <table border="1" data-bbox="481 1198 1428 1422"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>模様深さ</th> <th>容積欠損率 (%)</th> <th>※中空率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15～26</td> <td>最小厚さ 11 以上を確保</td> <td>11 以下 (但し、板厚 15 を超える場合は裏面から 15 以下の模様による欠損率とする)</td> <td>34 以下 (但し、板厚 18 を超える場合は厚さを増した分だけ、d の長さを増し中空率をあげることができる)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※中空の形状</p>  <table border="1" data-bbox="491 1713 1375 1792"> <thead> <tr> <th>厚さ t</th> <th>a</th> <th>b</th> <th>c</th> <th>d</th> <th>e</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18 以上</td> <td>3 以上</td> <td>3 以上</td> <td>3 以上</td> <td>9 以下</td> <td>t 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>但し、板厚 18 を超える場合、厚さを増した分だけ d の長さを増すことができる</p> <p>[4]-5 張方</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 横張 (2) 縦張</p>	厚さ	幅		長さ		最小	最大	最小	最大	15～26	303	606	910	3640	厚さ	重なり	隙間	15～26	9以上	3以下	厚さ	模様深さ	容積欠損率 (%)	※中空率 (%)	15～26	最小厚さ 11 以上を確保	11 以下 (但し、板厚 15 を超える場合は裏面から 15 以下の模様による欠損率とする)	34 以下 (但し、板厚 18 を超える場合は厚さを増した分だけ、d の長さを増し中空率をあげることができる)	厚さ t	a	b	c	d	e	18 以上	3 以上	3 以上	3 以上	9 以下	t 以下
厚さ	幅		長さ																																						
	最小	最大	最小	最大																																					
15～26	303	606	910	3640																																					
厚さ	重なり	隙間																																							
15～26	9以上	3以下																																							
厚さ	模様深さ	容積欠損率 (%)	※中空率 (%)																																						
15～26	最小厚さ 11 以上を確保	11 以下 (但し、板厚 15 を超える場合は裏面から 15 以下の模様による欠損率とする)	34 以下 (但し、板厚 18 を超える場合は厚さを増した分だけ、d の長さを増し中空率をあげることができる)																																						
厚さ t	a	b	c	d	e																																				
18 以上	3 以上	3 以上	3 以上	9 以下	t 以下																																				

項 目	申 請 構 造
[5] 構造用面材	木質系ボード 1)～6)のうち、いずれか一仕様とする 1) 普通合板 ・規格 JAS ・厚さ 9 以上 2) 構造用合板 ・規格 JAS ・厚さ 9 以上 3) 構造用パネル ・規格 JAS ・厚さ 9 以上 4) 製材 ・規格 JAS ・厚さ 9 以上 5) パーティクルボード ・規格 JIS A 5908 ・厚さ 9 以上 6) ミディアムデンシティファイバーボード ・規格 JIS A 5905 ・厚さ 9 以上 ・密度 0.7g/cm <sup>3</sup> 以上

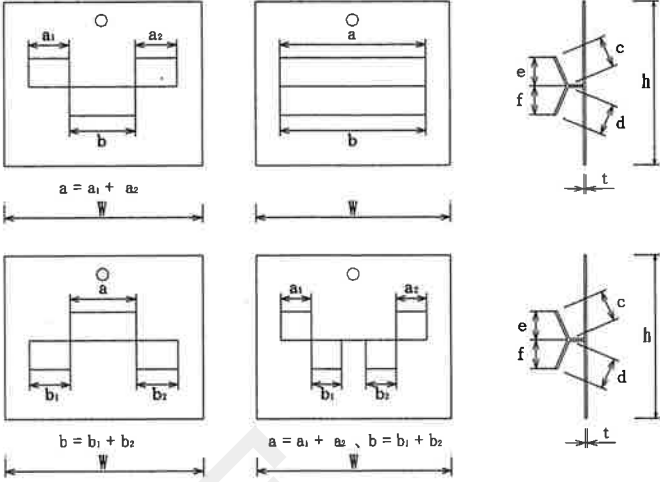
項 目	申 請 構 造
[6] 断熱材	<p>[6]-1 外張り用断熱材 フェノールフォーム保温板</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 9511</li> <li>・形状 平板</li> <li>・厚さ 20～300</li> <li>・密度 <math>27_{\pm 3} \sim 45_{\pm 5}</math> kg/m<sup>3</sup> (基材)</li> <li>・組成 (基材) (質量%) フェノール系樹脂 100 発泡剤 (炭化水素系) 2～7 (外割)</li> <li>・面材 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)～(6)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ポリエステル系不織布 <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用量 10～60g/m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>(2) ポリプロピレン系不織布 <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用量 10～60g/m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>(3) ポリエチレン加工紙 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS Z 1514</li> <li>・使用量 10～60g/m<sup>2</sup></li> </ul> </li> <li>(4) はり合せアルミニウムはく <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS Z 1520</li> </ul> </li> <li>(5) 無機系の加工紙 (けい酸マグネシウム紙、ガラス繊維紙、アルミニウムはく・ガラス繊維複合紙)</li> <li>(6) なし</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> <p>[6]-2 充てん用断熱材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 人造鉱物繊維断熱材 <ul style="list-style-type: none"> <li>1) グラスウール</li> <li>2) ロックウール <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 1)～ハ)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>イ) JIS A 9504</li> <li>ロ) JIS A 9521</li> <li>ハ) JIS A 9523</li> </ul> </li> <li>・厚さ 10 以上</li> <li>・密度 10kg/m<sup>3</sup> 以上</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(2) なし</li> </ul> </li> </ul>
[7] 内装材	<p>せっこうボード (強化せっこうボード含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 6901</li> <li>・厚さ 9.5 以上</li> <li>・端部形状 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) スクエア</li> <li>(2) ベベル</li> <li>(3) テーパー</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

## 2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
(1) 防水紙	1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) アスファルトフェルト ・規格 JIS A 6005 ・単位面積質量の呼び 430 以下 2) 透湿防水シート ・規格 JIS A 6111 ・厚さ 0.4 以下 ・材質 1)～ハ)のうち、いずれか一仕様とする 1) ポリエチレン ロ) ポリエステル ハ) ポリプロピレン ・表面アルミニウム蒸着仕上げ 1)、ロ)のうち、いずれか一仕様とする 1) あり ロ) なし 3) なし
(2) 防湿気密フィルム	1)～4)のうち、いずれか一仕様とする 1) 住宅用プラスチック系防湿フィルム ・規格 JIS A 6930 ・厚さ 0.2 以下 2) 包装用ポリエチレンフィルム ・規格 JIS Z 1702 ・厚さ 0.2 以下 3) 農業用ポリエチレンフィルム ・規格 JIS K 6781 ・厚さ 0.2 以下 4) なし
(3) 気密テープ	1)～3)のうち、いずれか一仕様とする 1) 粘着テープ (片面・両面) ・材質 1)～ト)のうち、いずれか一仕様とする 1) ブチルゴム系 ロ) EPDM ゴム系 ハ) アクリル系 ニ) アスファルト系 ホ) ポリエチレン系 ヘ) ポリエステル系 ト) ポリプロピレン系 ・厚さ 1.0 以下 ・幅 100 以下 2) アルミニウムはく付き粘着テープ ・材質 1)～ハ)のうち、いずれか一仕様とする 1) ポリエチレン系 ロ) ポリエステル系 ハ) ポリプロピレン系 ・厚さ 1.0 以下 ・幅 100 以下 3) なし

項 目	申 請 構 造
(4) 目地部材	<p>1)～5)のうち、いずれか一仕様、または1)と2)、または1)と3)の組み合わせのうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) シーリング材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5758</li> <li>・材質 ｲ)～㍻)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>ｲ) ポリウレタン系樹脂</li> <li>㍊) アクリルウレタン系樹脂</li> <li>㍋) ポリサルファイド系樹脂</li> <li>㍎) 変成ポリサルファイド系樹脂</li> <li>㍈) シリコーン系樹脂</li> <li>㍿) 変成シリコーン系樹脂</li> </ul> </li> <li>・使用量 56g/m 以上</li> </ul> <p>2) バックアップ材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 ｲ)～㍻)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>ｲ) ポリエチレン系樹脂</li> <li>㍊) ポリスチレン系樹脂</li> <li>㍋) ポリウレタン系樹脂</li> <li>㍎) ポリプロピレン系樹脂</li> <li>㍈) 塩化ビニル系樹脂</li> </ul> </li> <li>・使用量 2g/m 以上</li> </ul> <p>3) ハット形ジョイナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 ｲ)～㍻)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>ｲ) 熔融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)</li> <li>㍊) 塗装熔融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312)</li> <li>㍋) 熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)</li> <li>㍎) 塗装熔融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3318)</li> <li>㍈) 熔融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3321)</li> <li>㍿) 塗装熔融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3322)</li> <li>㍻) ポリ塩化ビニル被覆金属板 (JIS K 6744) (アルミを除く)</li> <li>㍼) 熱間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4304)</li> <li>㍽) 冷間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4305)</li> <li>㍾) 熔融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (JIS G 3323)</li> </ul> </li> <li>・厚さ 0.25 以上</li> </ul> <p>4) 金属ジョイナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 3)のｲ)～㍻)のうちいずれか一仕様とする</li> <li>・形状 ハット形、H形</li> <li>・厚さ 0.25 以上</li> </ul> <p>5) なし</p>
(5) 内装目地材	<p>1)、2)、または2)と3)の組み合わせのうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) なし</p> <p>2) せっこうボード用目地処理材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用量 100g/m 以上</li> </ul> <p>3) ジョイントテープ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 ガラスファイバーテープ</li> <li>・寸法 幅 50、厚さ 0.15～0.20</li> </ul>

項 目	申 請 構 造
(6) 留付材	<p>(6)-1 外装材留金具</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1)～10)のうち、いずれか一仕様とする             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)</li> <li>2) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312)</li> <li>3) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)</li> <li>4) 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3318)</li> <li>5) 溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3321)</li> <li>6) 塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3322)</li> <li>7) ポリ塩化ビニル被覆金属板 (JIS K 6744) (アルミを除く)</li> <li>8) 熱間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4304)</li> <li>9) 冷間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4305)</li> <li>10) 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (JIS G 3323)</li> </ol> </li> <li>・形状：</li> </ul>  <p>w : 幅 40 以上  h : 高さ 40 以上  w + h : 幅と高さの合計 90 以上  t : 鋼板の厚さ 0.8 以上  a : 上部ツメの幅 15.8 以上  b : 下部ツメの幅 14.0 以上  c : 上部ツメの長さ 4.2 以上  d : 下部ツメの長さ 4.6 以上  e : 上部ツメの掛かり高さ 4.0 以上  f : 下部ツメの掛かり高さ 4.2 以上  上部と下部のツメの総掛かり面積 <math>175\text{mm}^2</math> 以上 <math>[(a \times e) + (b \times f)]</math>  ・留付間隔 横方向 500 以下、高さ方向 外装材の幅による</p> <p>(6)-2 外装材留金具固定用</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)～3)のうち、いずれか一仕様とする             <ol style="list-style-type: none"> <li>1) スクリューくぎ                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 鉄またはステンレス鋼</li> <li>・寸法 <math>\phi 1.7</math> 以上 <math>\times L25</math> 以上</li> </ul> </li> <li>2) リングくぎ                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 鉄またはステンレス鋼</li> <li>・寸法 <math>\phi 1.7</math> 以上 <math>\times L25</math> 以上</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>



項 目	申 請 構 造
(6) 留付材 (つづき)	<p>3) タッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 鉄またはステンレス鋼</li> <li>・呼び寸法：φ3.0 以上×L25 以上</li> </ul> <p>・留付間隔 500 以下</p> <p>(6)-3 胴縁固定用</p> <p>1)、 2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 鉄またはステンレス鋼</li> <li>・寸法 φ3.4 以上×L75 以上</li> </ul> <p>2) ビス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 鋼またはステンレス鋼</li> <li>・呼び寸法 φ4.0 以上×L75 以上</li> </ul> <p>・留付間隔 500 以下</p> <p>(6)-4 内装材固定用</p> <p>1)～5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) せっこうボード用くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS A 5508</li> <li>・寸法 φ2.34 以上×L25.4 以上</li> </ul> <p>2) 十字穴付木ねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS B 1112</li> <li>・呼び寸法 φ3.1 以上×L25 以上</li> </ul> <p>3) ドリリングタッピンねじ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格 JIS B 1125</li> <li>・呼び寸法 φ3.0 以上×L25 以上</li> </ul> <p>4) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 鉄またはステンレス鋼</li> <li>・寸法 φ1.7 以上×L25 以上</li> </ul> <p>5) ビス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 鋼またはステンレス鋼</li> <li>・呼び寸法 φ2.0 以上×L25 以上</li> </ul> <p>・留付間隔 200 以下</p> <p>(6)-5 構造用面材固定用</p> <p>1)、 2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 鉄またはステンレス鋼</li> <li>・寸法 φ1.7 以上×L25 以上</li> </ul> <p>2) ビス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 鋼またはステンレス鋼</li> <li>・呼び寸法 φ2.0 以上×L25 以上</li> </ul> <p>・留付間隔 500 以下</p>

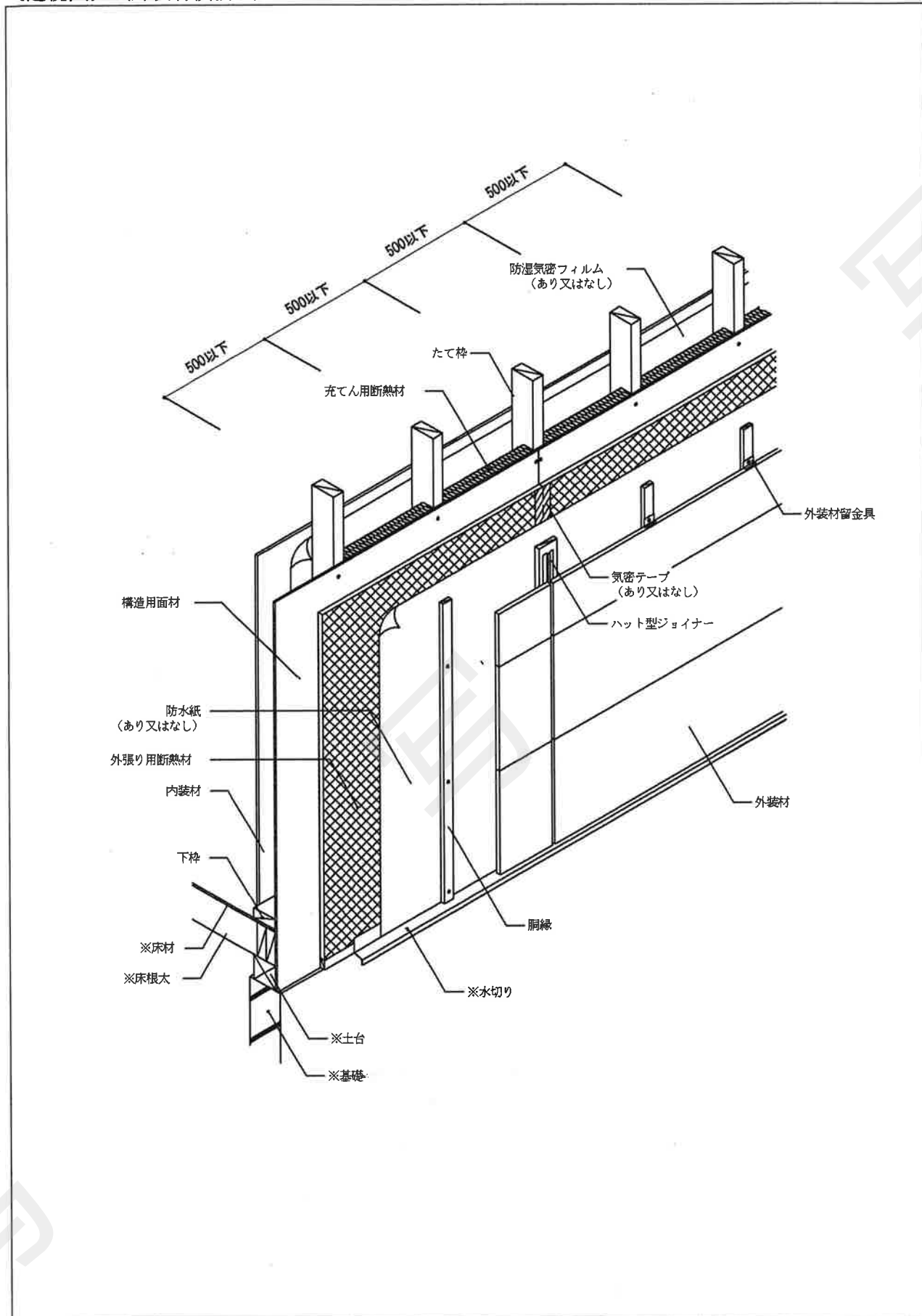
項 目	申 請 構 造
(6) 留付材 (つづき)	<p>(6)-6 断熱材固定用</p> <p>1) ~6) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) くぎ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 鉄またはステンレス鋼</li> <li>・寸法 <math>\phi 1.7</math> 以上×L25 以上</li> </ul> <p>2) 粘着テープ (片面・両面)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1) ~4) のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>1) ブチルゴム系</li> <li>2) EPDM ゴム系</li> <li>3) アクリル系</li> <li>4) アスファルト系</li> <li>5) ポリエチレン系</li> <li>6) ポリエステル系</li> <li>7) ポリプロピレン系</li> <li>・厚さ 1.0 以下</li> <li>・幅 周辺部 100 以下 中央部 50 以下</li> <li>・使用量 200g/m<sup>2</sup>以下</li> </ul> <p>3) スプレーのり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 合成ゴム系樹脂</li> <li>・塗布量 100g/m<sup>2</sup>以下</li> </ul> <p>4) 接着剤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1) ~4) のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>1) エポキシ系樹脂</li> <li>2) 酢酸ビニル系樹脂</li> <li>3) ゴム系</li> <li>4) アクリルウレタン系樹脂</li> <li>5) ポリウレタン系樹脂</li> <li>6) 変成シリコン系樹脂</li> <li>・塗布量 180g/m<sup>2</sup>以下</li> </ul> <p>5) ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 鉄またはステンレス鋼</li> <li>・寸法 肩幅 9.6 以上、足長 10 以上</li> </ul> <p>6) なし</p> <p>(6)-7 防水紙・防湿気密フィルム固定用</p> <p>1) ~4) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) ステープル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 鉄またはステンレス鋼</li> <li>・寸法 肩幅 9.6 以上、足長 10 以上</li> </ul> <p>2) 粘着テープ (片面・両面)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 1) ~4) のうち、いずれか一仕様とする</li> <li>1) ブチルゴム系</li> <li>2) EPDM ゴム系</li> <li>3) アクリル系</li> <li>4) アスファルト系</li> <li>5) ポリエチレン系</li> <li>6) ポリエステル系</li> <li>7) ポリプロピレン系</li> <li>・厚さ 1.0 以下</li> <li>・幅 100 以下</li> <li>・使用量 200g/m<sup>2</sup>以下</li> </ul> <p>3) スプレーのり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・材質 合成ゴム系樹脂</li> <li>・塗布量 100g/m<sup>2</sup>以下</li> </ul> <p>4) なし</p>

項 目	申 請 構 造
(6) 留付材 (つづき)	(6)-8 下地胴縁固定用 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) くぎ ・材質 鉄またはステンレス鋼 ・寸法 $\phi 1.7$ 以上×L25 以上 2) ビス ・材質 鋼またはステンレス鋼 ・呼び寸法 $\phi 2.0$ 以上×L25 以上 ・留付間隔 4500 以下
(7) 下地胴縁	1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1) なし 2) あり 木 (製材、集成材または単板積層材) ・断面寸法 20×20 の断面寸法以上

4. 構造説明図

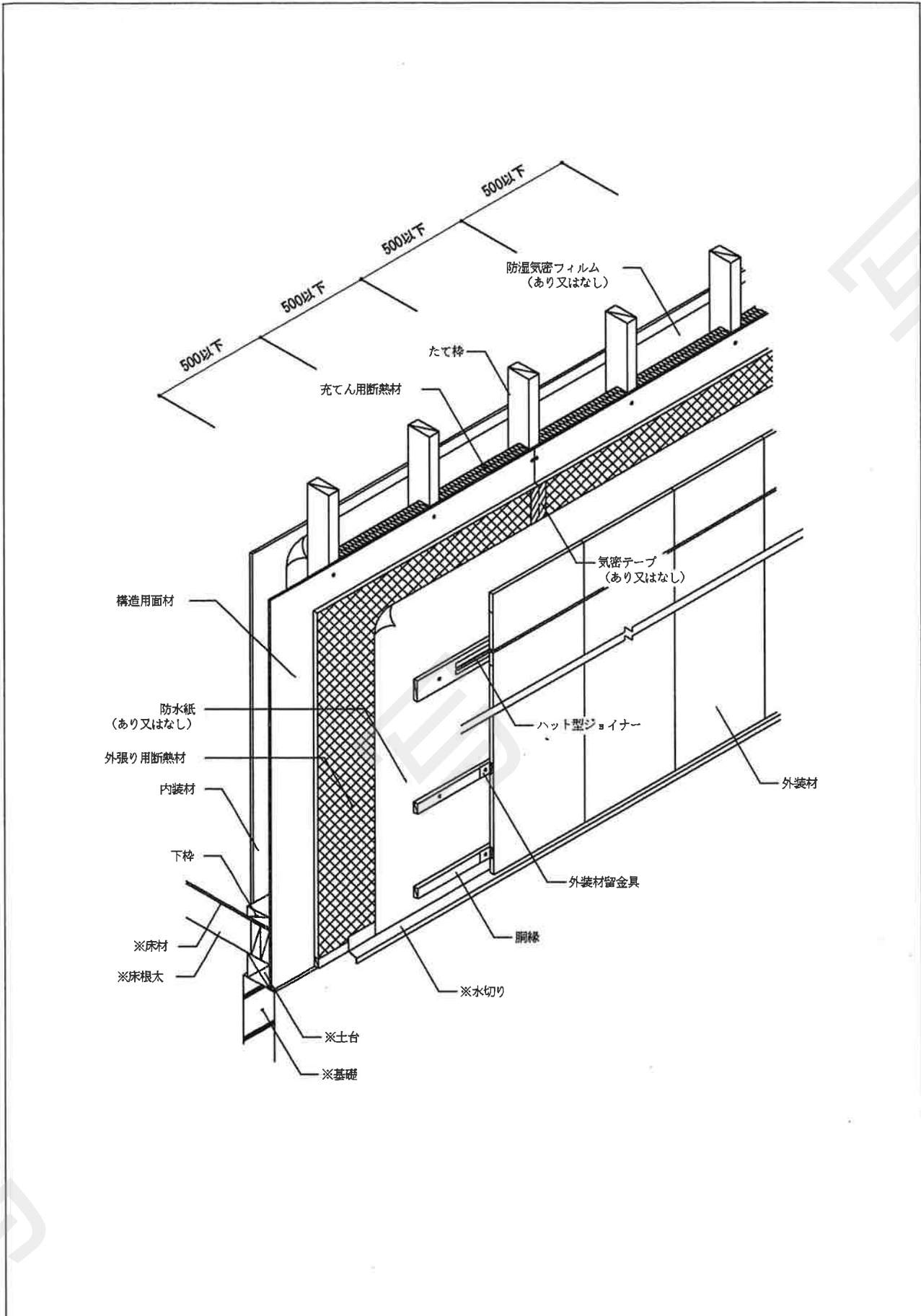
<透視図> (外装材横張り)

(寸法単位：mm)



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

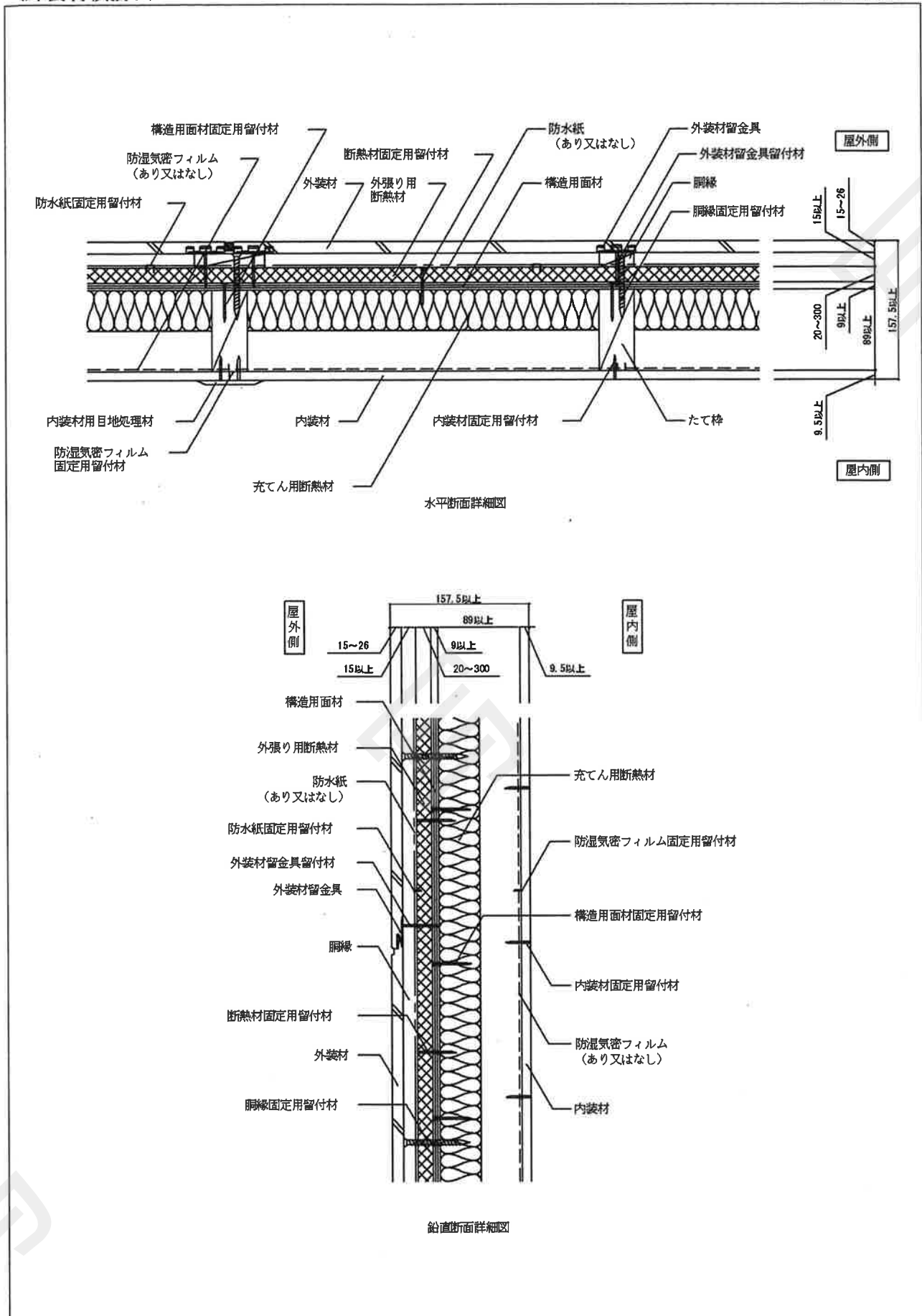
※：本評価対象に含まない



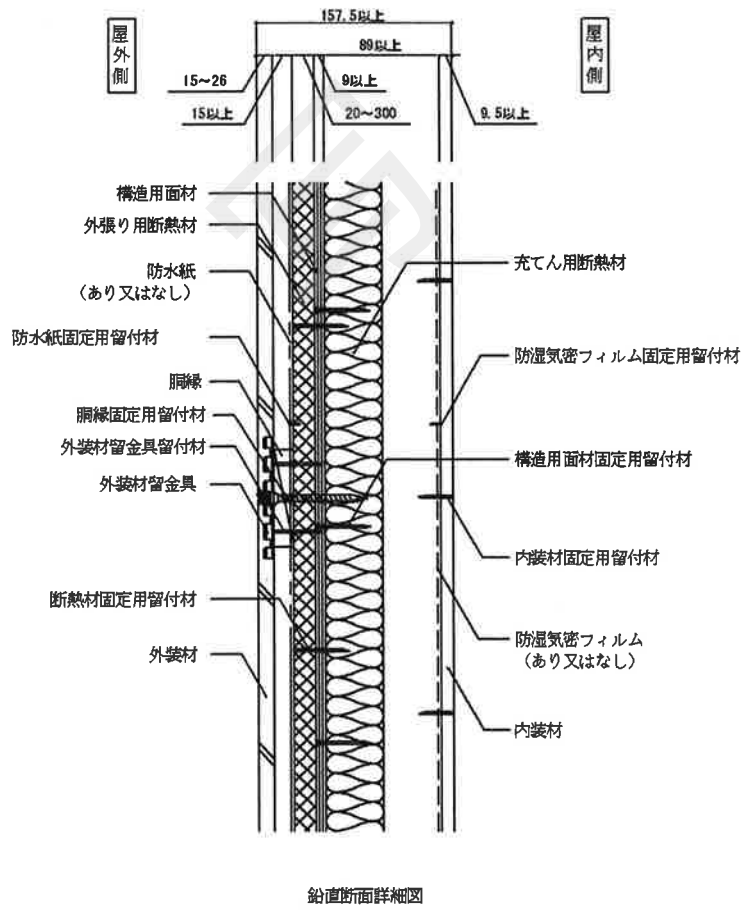
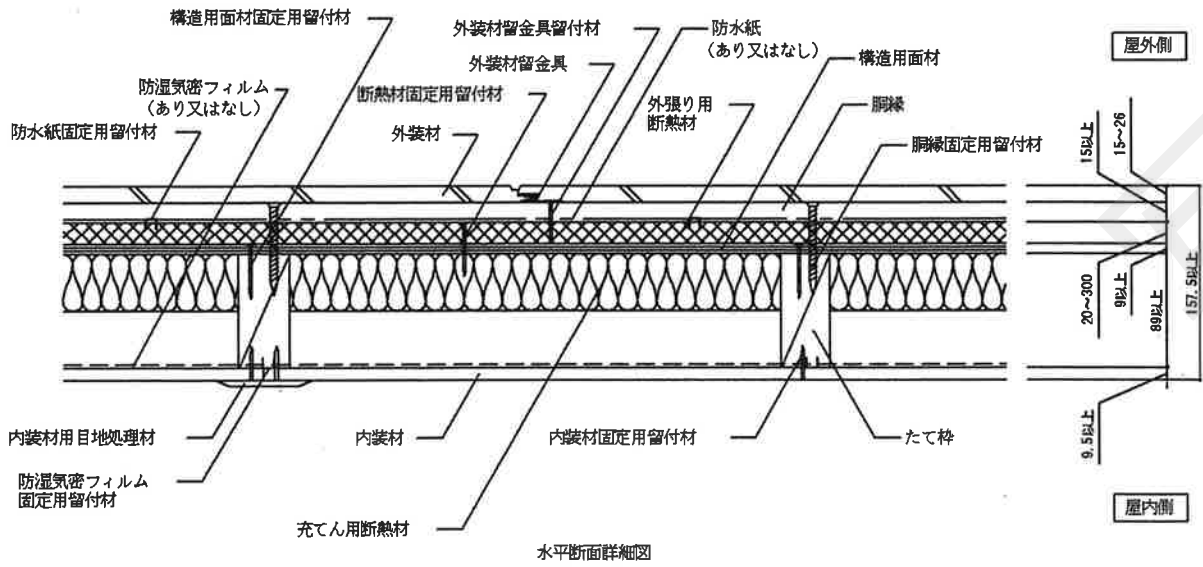
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり  
※：本評価対象に含まない

<鉛直断面図・水平断面図>  
(外装材横張り)

(寸法単位：mm)



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

## 5. 施工方法等

### <施工図>

#### 4. 構造説明図と同じ

### <施工手順>

#### 1) 下地組等

たて枠は、反り曲がりのないものを使用し、土台に垂直に取付ける。  
構造用面材は、たて枠の上に構造用面材用留付材を用いて取付ける。

#### 2) 断熱材の取付け

外張り用断熱材は、構造用面材の上に断熱材仮固定用留付材を用いて、隙間が生じないように取付ける。

充てん用断熱材は、隙間が生じないように、たて枠間等に充てんする。

#### 3) 防湿気密フィルムを張る場合

防湿気密フィルム仮固定用留付材を用いて、たるみやしわのないように、充てん用断熱材より室内側に取付ける。

#### 4) 気密テープを貼る場合

断熱材の目地の上部から、剥がれないように貼る。

#### 5) 防水紙を張る場合

横張を原則とし、所定の重ね代を確保した上で、防水紙仮固定用留付材で仮固定する。

#### 6) 胴縁の取付け

外張り用断熱材の上に、胴縁固定用留付材を用いて取付ける。

#### 7) 外装材の取付け

目地にずれが生じないように、外装材留金具、外装材固定用留付材を用いて取付ける。

#### 8) 内装材の取付け

内装材用留付材を用い、柱及び間柱に取付ける。